

オホーツク特殊関数セミナー

開催期間: 2014年2月17~19日

開催場所: 北見工業大学 情報システム工学科大学院演習室
(情報2号棟1階)

司会者: 山田 浩嗣 (北見工大)
松本 圭司 (北大 理)

2月17日(月)

10:00–11:00 山田 浩嗣 (北見工大)
楕円曲線上の不安定 G-bundle の特徴づけ

11:15–12:15 新木 悠祐 (北見工大)
楕円曲線上の rank2 ベクトル束, Appell-Lerch sum,
 $A_1^{1,1}$ -型単純楕円特異点

13:30–14:30 田中 大介 (北大 理)
多重ゼータ値と超幾何関数

14:45–15:45 蛭子 彰仁 (九大 数理)
一般化超幾何微分方程式の因数分解

16:00–17:00 後藤 良彰 (北大 理)
一般超幾何関数のねじれ周期関係式

2月18日(火)

10:00–11:00 伊藤 雅彦 (東京電機大 未来科学)
両側級数に拡張された q セルバーグ積分

11:15–12:15 金子 讓一 (琉球大 理)
Lauricella の F_C に関する空間の Euler 標数

13:30–14:30 眞野 智行 (琉球大 理)
線形微分方程式の変換と有理関数近似の双対性について

14:45–15:45 小原 功任 (金沢大 理工)
超幾何関数の有理変換公式について

16:00–17:00 高山 信毅 (神戸大 理)
A-超幾何方程式に付随する twisted cohomology 群の基底と組合せ論

2月19日（水）

10:00–11:00 渡辺 文彦 (北見工大)
複素トーラス上のツイスト (コ) ホモロジー

11:15–12:15 松本 圭司 (北大 理)
算術幾何平均の類似品に関する種々の公式